

## 巻頭言

平成 29 年度も残り 2 か月余となりました。今年度は、全市町で農地中間管理事業に取り組んでいただきました。関係の皆様には、御協力をご感謝申し上げます。

今年度の実施状況ですが、昨年 12 月末現在の農業振興公社の借受面積は 677.6 ヘクタールです。28 年度 1 年間の実績が 447.0 ヘクタールですので、それより 230.6 ヘクタール上回っています。今年度の特徴としては、中遠地域で水田の利用実績が多く出ているほか、各地で茶園の利用が急速に増えています。また、オリーブ、イグサ、苔、スポーツ用芝、ぶどうなどの新しい作物の利用も見られます。

現在、農業委員会に配置された農地利用最適化推進委員は 31 市町で 412 人です。推進委員が農

### 農地中間管理事業の借受実績 (単位: ha)

年度 地域	H26	H27	H28	H29 (12 月末)	累計
賀茂		7.1		3.7	10.7
東部	4.7	38.5	60.5	83.2	186.9
富士		54.8	87.4	76.9	219.2
中部	10.9	45.5	36.2	50.6	143.1
志太榛原	2.1	19.5	51.5	107.6	180.6
中遠	50.7	178.2	124.6	326.4	679.8
西部	3.9	79.9	86.6	29.4	199.7
合計	72.3	423.4	447.0	677.6	1,620.0

地の集積、集約化に向けた現場活動を始めた地域もあり、今後の連携を期待しています。

各地で来年度に向けた話し合い調整などが行われています。関係の皆様には、農地中間管理事業の取組が一層進むよう御理解、御協力をお願いします。

(農業振興公社 理事長 大谷徳生)

## 農地中間管理事業の現地推進活動

農業振興公社では、5 農林事務所（東部、富士、志太榛原、中遠、西部）内に駐在員を配置しており、市町、農業委員会、JA、県農林事務所などと密接に連携して、農地中間管理事業に関する説明会や研修会等に出席しています。

今後も、地域の実情に合わせ、農地集積・集約化活動に積極的に取り組んでいきます。

地域名	最近の主な活動内容
東部	農地利用最適化推進委員との意見交換会（松崎町） 機構関連事業及び農地中間管理事業に関する説明会（御殿場市）
富士	農業委員会・農地利用最適化推進会議（富士宮市）
中部	農業委員会研修会（茶園集積事例の説明）（静岡市） 農地中間管理事業による農地集積計画契約会（島田市）
中遠	一ノ宮地区農業推進委員会総会（基盤整備事業、農地中間管理事業の説明）（森町） 中遠地域農地活用連絡会研修会（磐田市）
西部	大規模水田農家の経営計画検討会（浜松市）



農地中間管理事業等に関する説明会（御殿場市）



中遠地域農地活用連絡会研修会（磐田市）

## 年度別・作物別貸付実績

本年度 12 月末時点での農業振興公社からの作物別貸付面積の累計は、1599.9ha で、そのうち、水稻が 63% を占め、次いで茶、野菜、果樹の順となっています。本年度は、水稻が 450.3 ha、茶が 120.3ha と大きく伸びています。

### 年度別・作物別貸付実績（暫定値）

（単位：ha）

年度 地域	H26	H27	H28	H29 (12 月末)	累計	比率%
水稻	5.3	285.8	241.1	450.3	982.4	63.0
茶	0.8	21.1	47.1	120.3	189.3	12.1
野菜	8.8	43.2	42.8	50.6	145.3	9.3
果樹		51.1	41.2	31.4	123.7	7.9
飼料作物		27.3	20.8	35.7	83.8	5.4
花き		3.7	3.2	2.5	9.3	0.6
その他		7.6	9.4	9.0	26.0	1.7
計	14.9	439.8	405.5	699.8	1,599.9	100.0

## 関係者全員の連携で農地集積～全国一のレモン産地（広島県尾道市瀬戸田町）～

広島県尾道市瀬戸田町は、レモンの生産量全国一の産地として知られ、若手後継者も育っています。一方で、高齢化による廃園化が進行しており、若手後継者がこうした園地を引き受けて規模拡大を目指す動きが目立ってきました。

そこで、瀬戸田町全域の人・農地プランを作成して担い手を特定し、合わせて、市、農業委員会、中間管理機構、JA が連携してマッチング会議を立ち上げ、農地中間管理事業を活用した農地集積活動を展開してきました。

会議では、複数の借受者がいる場合の優先順位の明確化や、貸出希望農地の中で耕作が可能な農地の選定などについて、借受け希望者も同席して話し合われました。

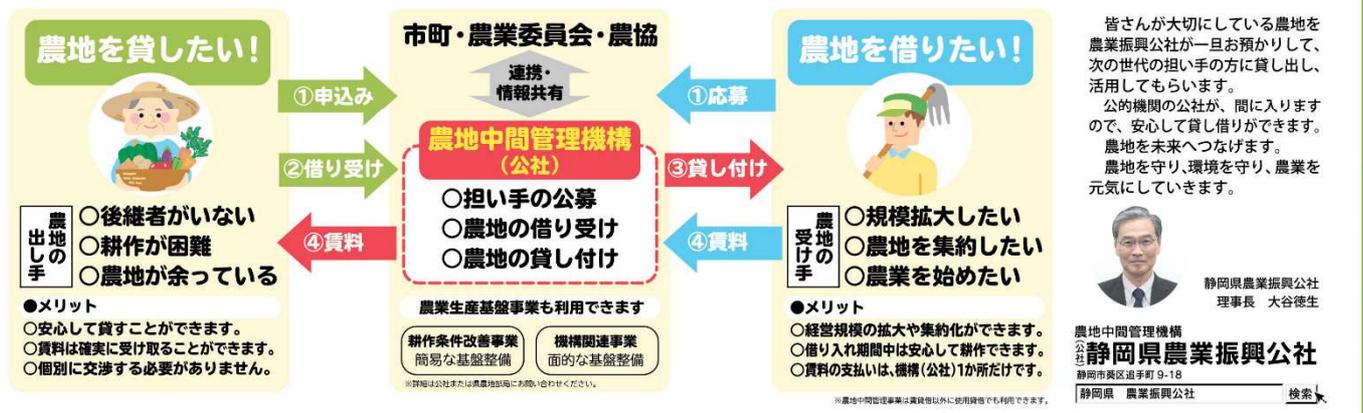
会議をリードする地元農業委員は、農地所有者から老木の改植や園内道の整備の了解を取り付け、若手後継者に貸し出すなど、橋渡し役としての活動を精力的に実施しており、担い手組織との連携も視野に入れながら地域農業の維持発展に意欲を燃やしていました。



\* 農地利用調整員県外視察研修会（H29. 10. 18）公社駐在員報告より

## みんなの力を結集し、農地を守り、農地を活かす。 未来に向かって話し合いを進めましょう！

農地中間管理機構・静岡県農業振興公社 があなたをサポートします。



### 農業委員の協力を得て農地を借受け、野菜栽培を開始～(株)とわ（掛川市）～

掛川市中方の農業法人「株式会社とわ」代表取締役の白井佑介さんは、高等学校の機械科を卒業後、電子機器製造会社での10年間の工場勤務を経て、農業経営を開始した新進気鋭の若手経営者です。

地元の農業法人で知識と技術を身に付け、その後、別の法人の独立支援プログラムを受けて平成25年に株式会社を立ち上げました。地元の農業委員の協力を得て、初年度から7haの農地を借り受け、現在では地域の若者4人を雇用し、約15haの農地でレタス、キャベツ等の露地野菜を栽培しています。

経営規模の拡大にあたっては、農地中間管理事業によって5.6haの農地を借り受け、効率的な農地利用を図っており、トウモロコシやオクラなど新たな作物にも積極的にチャレンジしています。



静岡エフエム放送(K-mix)に出演  
(左が白井さん)

### 農地中間管理事業を通じた規模拡大でみかん栽培を引き継ぐ～鴨川博巳（浜松市）～

浜松市北区三ヶ日町でみかん栽培を行っている鴨川博巳さん。元々自営で運送業を営んでいましたが、奥様の父親が行っていた農業経営を引き継ぐ形で1年前に専業農家になりました。現在、みかん園約2.3haのうち1.5haを農地中間管理事業により借り受け、規模拡大を進めています。

以前からみかん栽培を手伝っていた経験はあるものの、本格的に取り組んでみると、失敗や後悔が多々あったそうです。

まだ始めたばかりで、試行錯誤が続きますが、栽培技術を磨くとともに、今後も農地中間管理事業を通じてみかん畑を増やし、安定した経営につなげていくことを目指して頑張っています。



静岡エフエム放送(K-mix)に出演

### 農地中間管理事業の活用で茶園貸借の手間を大幅に効率化～まる水園（富士市）～

富士山南麓の富士市神谷で茶生産から荒茶加工、販売まで行っている「まる水園」。後継者である水野公孝さんは、県の青年農業士に認定されており、農林水産大臣賞受賞経験を持つ父、米満さんとともにお茶作りに励んでいます。

まる水園の茶園面積は22haで、約6割に当たる13.6haを農地中間管理事業を通じて借り受けています。

これまでは、地主の方全員と時間を掛けて交渉していましたが、農地中間管理事業に切り替えたことによって個別交渉の必要がなくなってスムーズに契約できるようになり、賃借料支払の手間も大幅に削減できたとのこと。

水野さんは、「大好きなお茶作りに誇りと希望を持って取り組んでいく。地域の子供たちにお茶のおいしさを伝えていきたい。」と意欲を語っていました。



静岡エフエム放送(K-mix)に出演  
(中央左が水野公孝さん)

# お知らせ

## 担い手への農地集積に向けた基盤整備を支援します～農地耕作条件改善事業～

農地耕作条件改善事業は、担い手への農地集積・集約化を推進するための農地の区画拡大や暗渠排水の設置、用排水路の更新整備などを支援する事業です。

事業内容、実施要件等は下表のとおりです。

### 農地耕作条件改善事業《地域内農地集積型》

事業内容	定額助成 *1	<ul style="list-style-type: none"> <li>区画拡大、暗渠排水、用排水路の整備更新等</li> <li>上限 300 万円の条件改善促進支援</li> </ul>
	定率助成 *2	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業用排水施設、暗渠排水、土層改良、区画整理、農作業道農地造成、農用地の保全</li> <li>ICTによる水管理等の省力化支援、外</li> </ul>
実施要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>農地中間管理事業の重点実施区域、本事業の実施により重点実施区域に指定されることが確実な区域(これらを受益とする施設も対象)</li> <li>総事業費 200 万円以上、受益者数 2 者以上(借り手以外に地主が 2 者以上)</li> <li>農地中間管理機構との連携概要の策定</li> </ul>	
実施主体	<ul style="list-style-type: none"> <li>農地中間管理機構(農業振興公社)、県、市町、土地改良区、JA、農業法人等</li> </ul>	

\*1 定額助成：標準的な工事費の 2 分の 1 相当額を助成

\*2 定率助成：補助率 50% (県営の場合は 55%)

### ～農地中間管理事業のテレビ CM を放映しています～

公社では、農地中間管理事業のPRと利用促進のため、テレビCMを放映しています。

CMに出演していただいているのは、牧之原市菅山の農事組合法人茶夢茶夢ランド菅山園の皆さんです。

茶夢茶夢ランド菅山園は、茶とイチゴの複合経営で、農地中間管理事業を活用した茶園の規模拡大にも積極的に取り組んでいます。

CMは、1月から3月末までの毎週日曜日(2月11日を除く)、「ごちそうカントリー」(静岡第一テレビ 11:40～)の放送後に放映されています。



農地中間管理機構 (公益社団法人 静岡県農業振興公社) <a href="mailto:nouchi@shizuoka-nk.or.jp">nouchi@shizuoka-nk.or.jp</a>					
本社	農地集積課	電話	054-250-8989	〒420-0853	静岡市葵区追手町 9 番 18 号 静岡中央ビル 7 階
		FAX	054-250-8993		
駐在	東部駐在	電話	055-924-3993	〒410-0055	沼津市高島本町 1 の 3 東部農林事務所内
		FAX	055-924-3994		
	富士駐在	電話	0545-65-2261	〒416-0906	富士市本市場 441 の 1 富士農林事務所内
		FAX	0545-65-2262		
	中部駐在	電話	054-646-2122	〒426-0075	藤枝市瀬戸新屋 362 の 1 志太榛原農林事務所内
		FAX	054-646-2123		
	中遠駐在	電話	0538-35-1335	〒438-8558	磐田市見付 3599 の 4 中遠農林事務所内
		FAX	0538-35-1336		
	西部駐在	電話	053-458-7105	〒430-0929	浜松市中区中央 1 丁目 12 の 1 西部農林事務所内
		FAX	053-458-7106		